

八幡工高新聞

発行者：滋賀県立
八幡工業高校新聞部

機械工作部
技能検定合格号

史上初! 10名合格

技能検定普通旋盤作業2級

7月22日と8月27日、八工の機械実習棟とホテルニューオウミ近江八幡で、都道府県職業能力開発協会が実施する令和5年度前期技能検定普通旋盤作業2級が行われた。この検定に、機械工作部の以下10名が合格した。

満田 喜久 (3-2)	宮坂 涼介 (3-2)
尾崎 彩乃 (2-1)	古賀 巧真 (2-1)
富田 真央 (2-1)	中村 泰晟 (2-1)
池田 真斗 (2-2)	現王園 拓海 (2-2)
間宮 愛翔 (2-2)	和田 征士 (2-2)



合格の秘訣
『練習』
と
『受かろうとする情熱』



←実技試験で作られた作品

この検定は、実技試験(試験時間3時間30分)時間内に部品2つを製作し、示された指示寸法になるように加工する試験。7月22日、八工にて実施と学科試験(工作機械加工一般、機械要素、機械工作法など。8月27日、ホテルニュー近江にて実施の2つで合格が決まる。そして、この2級を受けるためには、まず3級に合格してなければならない。合格者の中には2年生が多いが、何故10名という人数が3級の壁を越え2級に合格できたのか。機械工作部員数名と機械工作部の顧問である梅本先生に話を伺った。

この検定を受けるメンバーは今年の1月から検定日当日まで、約6ヶ月ずっと練習をしていた。部分部分を完璧に仕上げた後、全体を製作。と計画的に進め、検定に向けて万全の準備をして挑んだ。梅本先生が2級に10名が受かった秘訣を『練習』と言うほど、合格の為には日々の練習の積み重ねが大事なのだろう。

先ほど出てきた10名が受かった秘訣、それがもう1つある。『受かろうとする情熱』だ。「資格検定を通じて技能のスキルを身につけることが大切。ここは工業高校なので施設設備がある、指導体制も整ってる。是非チャレンジ

してほしい。そのことで自分の未来がより確かで豊かなものになる」この梅本先生が言った言葉の通り、八工には設備があって指導者もいる。つまり情熱があれば資格は取れるし検定には受かれるのだ。

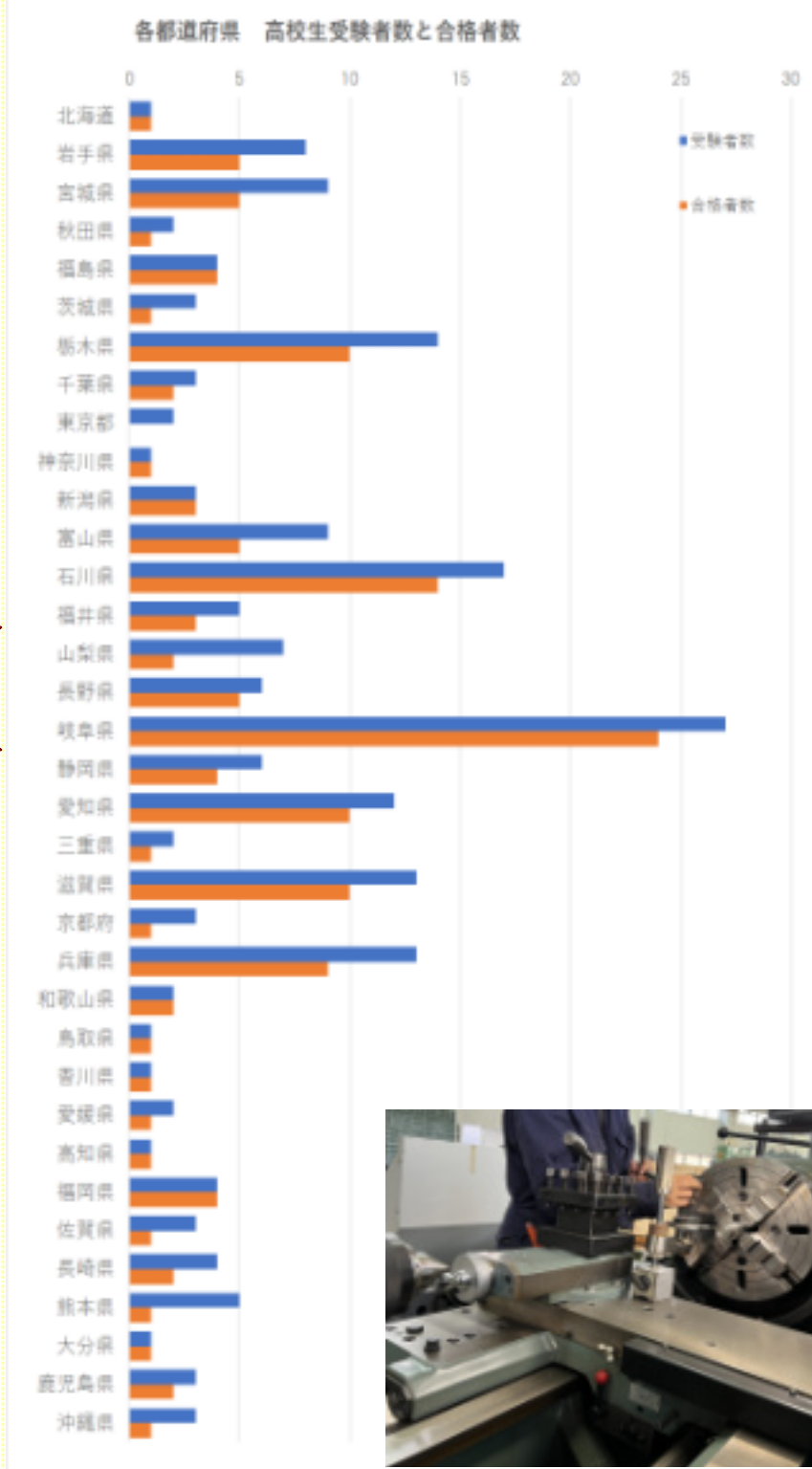
この検定には滋賀県全体で13名が挑戦し、10名が合格した(八工の生徒のみである)。

他の県の合格者数はどうだったのか、47都道府県の管轄である職業能力開発協会にFAX・FORMSで聞いてみた。『回答しかねる』といわれた県もあったが・・・

回答いただいたのは40県。右はその受験数と合格者数をグラフにしたものである。

高校生の受験者数は計200名。合格者数は計139名。合格率は69.5%。

まさしく、本校の結果は**快挙**といえることがわかった。一番合格者数が多かったのは岐阜県の24名。岐阜県では、県内すべての工業高校、工業系列を持つ高校がこの検定の2級・3級を受検している。中には、専門校も含まれる。なので、この24という数字も頷ける。



↑↓普通旋盤作業の様子

